

## 事務局からのお知らせ（総支部ニュース）

### 第10回 政策懇談会

事務局 2011.06.07



2011年6月4日（土）13時より公益財団法人どうぶつ基金と生活クラブ生活協同組合都市生協の2団体をお招きし、ラッセホールにて第10回目の政策懇談会を開催しました。



どうぶつ基金は国内唯一の公益認可を受けている動物愛護団体として、「犬や猫の『殺処分ゼロ』」を訴え、自治体や業界団体の問題を指摘。特に、ブリーダーやペットショップにおける飼育環境の問題と、「虐待」の定義が明確でないがゆえに環境省が指導・処罰できない現状をあげ、ドイツの例を参考に生育・飼育条件の数値化を求められました。また、「保護」の名目で「殺処分」が当然のごとくまかり

通る自治体の姿勢に対しても、データを上げて理解を求められました。

続く、生活クラブ生活協同組合都市生協は組合員による共同購入のシステムを運営する中から「容器包装リサイクル法」後の新たな視点として、資源を再生するのではなく、ゴミそのものを減らし（リデュース）再利用する（リユース）ことの重要性を取り上げられました。現在、自治体負担となっている回収・再生費を事業者負担とし、製品価格への反映を消費者が受け入れることも必要としながらも法制化を要望されました。また、教員経験をお持ちの市議が給食のビン牛乳の取り扱い等、子供の頃からの体験教育の重要性が言及されるなど、注目の集まる議論となりました。